

# ヨリモ・トークセッション 激震経済2010



司会 ショーンK

経営コンサルタント。企業の戦略コンサルティングなどを手がける傍ら、テレビ・ラジオのキャスターとしても活躍している。

野間口 日本は構造的には  
ショーンK 日本経済への  
処方箋は。

読売新聞の会員制サービス「ヨリモ」が主催(協賛・大和証券、協力・中央公論新社)した「ヨリモ・トークセッション」激震経済2010が昨年12月13日、東京・丸の内東京国際フォーラムで開かれた。第一部では、大和総研の野間口毅・チーフ株式ストラテジストが2011年の日本経済の見通しについて講演。第2部の座談会では、日本経済の課題などについて活発な意見交換が行われた。(司会は経営コンサルタントのショーンK氏)



## ■経済の現状

ショーンK リーマン・ショックの後、日本の株価は、米国、英国などに比べて落ち込みが大きかった。

野間口 日本は米国に対する輸出依存の比率が高かったからだ。日本の最大の貿易相手地域はアジアだが、アジアの最大の貿易相手国は米国。だから、米国の購買力が回復するかどうかは世界アジア、そして日本にとって一番重要。加えて日本は為替面(円高)で非常に不利な戦いを強いられている。

荻原 新興国には、世界中の余ったお金の流れ込んでいて景気がいい。ただ、それが本当の成長なのかはまだ分からない。「バブルかもしれない」といった不安定な要素があるが、アジアの好景気の恩恵を受けて、日本の企業でも利益を上げるところが出てきた。

丸山 10年度の上半期の企業業績は良かった。下半期は若干慎重に見ている企業も多いが、為替相場次第で堅調に行くという雰囲気もある。ただ、新興国や米国と日本が違うのは、(物価下落が続く)デフレが進行していることだ。これでは設備投資や消費に本格的に火がつかない。

■雇用・所得問題  
ショーンK 円高の割には企業業績は良い状態に戻ってきていると思うが、所得や雇用は伸びていない。  
野間口 大企業を中心に膨大なキャッシュが偏在する。これは事実。企業の内部留保は過去最高と言われている。海

世界経済全体の牽引役が再び新興国に移りつつある。リーマン・ショック後の2009年を起点に、新興国全体の発展スピードは米国を一時引き離している。10年の中国の経済規模が日本を上回るのほぼ確実。新興国の経済発展はかなり長期継続だろう。株価で見ても新興国がリーマン・ショック前の水準を回復したのは09年夏頃で、それに遅れること1年弱で米国の株価がこの水準を回復した。日本の株価は

## 基調講演 野間口 毅

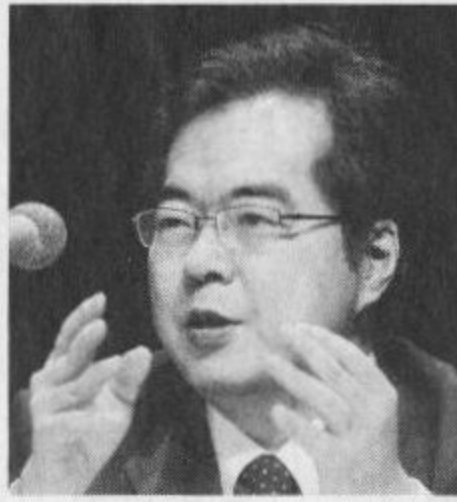
「2011年の内外経済と株式市場展望」

まだリーマン・ショック前より低いままだ。米国の株価が回復した理由は、米経済自体が回復したことだ。例えば、小売売上高は10年10月にリーマン・ショック前の水準を回復し、11月は記録的な伸びとなった。新車販売台数も10、11月と連続で今年最高となり、住宅販売にも回復の兆しが見え始めている。

この動きの土台には、雇用が10月から回復を始めたことがある。米国の雇用と株価の動きはきれいに相関している。欧州の財政危機がアイルランドで止まるなら、米雇用の回復は11年以降も続く可能性が高い。

一方、日本経済だが、我々の予想では、11年4〜6月期以降、少しずつ景気が回復する。12年1〜3月期になってやっと10年7〜9月期の水準まで戻るとい程度だろう。ただし、この予想は1円80円の為替レートを前提としている。実際はもう少し円安ドル高になるだろう。その場合、11年にはかなり高い確率で日本経済が踊り場を脱するだろう。日経平均株価は11年の後半に1万2000〜1万3000円ぐらいに上昇するのではないかと。

# 閉塞打開 まず指導力



丸山 淳一

読売新聞東京本社経済部長。経済部次長、論説委員などを経て、2010年5月から現職。



荻原 博子

経済ジャーナリスト。雑誌・新聞の連載など執筆活動のほか、テレビで経済や家計を分かりやすく解説している。



野間口 毅

大和総研投資調査部チーフ株式ストラテジスト。大和証券国際営業部などを経て、現在は日本株の投資戦略を担当。

## 丸山 もう一段国際化を



「ヨリモ・トークセッション」激震経済2010、第2部の座談会では、活発な意見交換が行われた

かなり行き詰まっている。かつてイギリスのサッチャー首相、アメリカのレーガン大統領がやったような根本的な変化を起さないと、ギリシャ、アイルランドのような(財政

荻原 日本は1年ごとに首相が代わり、10年のビジョンが立てられない。韓国、ロシア、シンガポール、中国などは強いリーダーシップの下で切磋琢磨している。一方政治が「溶解」している日本。この差は10年後に大きく出てくる。

## 荻原 日本の政治「溶解」

2008年9月の米大手証券リーマン・ブラザーズの破綻をきっかけに、世界経済は文字通りの激震に見舞われました。激震経済とは、同名の読売新聞の1面連載などをもとに経済記事を再構成し、2010年夏に中央公論新社から発刊されました。写真。

## 野間口 為替で非常に不利

2008年9月の米大手証券リーマン・ブラザーズの破綻をきっかけに、世界経済は文字通りの激震に見舞われました。激震経済とは、同名の読売新聞の1面連載などをもとに経済記事を再構成し、2010年夏に中央公論新社から発刊されました。写真。

デフレ、少子化...課題検証 本紙記事、単行本に

